

# 五百羅漢像の活用方法学ぶ

## 小樽 市民ら参加しセミナー

五百羅漢像について話す宗円寺の荻野徹  
住職



講演 「五百羅漢の成り立ち」  
講師 曹洞宗 豊福山正法寺宗円寺住職 荻野徹

講演 「羅漢さん」  
講師 元小樽 高野宏康

講演 「宗円寺・五百羅漢」  
講師 小樽商科大学GCS学術研究員

小樽の歴史や文化の魅力  
を再発見する「北運河市民  
セミナー」(小樽北運河の  
有形文化財に指定されてい

る宗円寺(潮見台1)の五  
百羅漢像をテーマに市民ら  
約50人が保存活用の取り組  
みなどを学んだ。  
像は1909年(明治42  
年)に、もともと渡島管内  
松前町にあった宗円寺と共  
に船で小樽に移されたとき  
れる。室町時代から明治初  
期に彫られたとされる51  
5体が同寺に並んでいる。  
この日は同寺の荻野徹  
住職、元市総合博物館館長  
の土屋周二さん、小樽商科  
大の高野宏康学術研究員が  
講演。荻野住職は「小樽の  
歴史を伝えるランドマーク  
として五百羅漢像を守るの  
が自分の使命だ。多くの  
人に像の素晴らしさを知っ  
てもらいたい」と話した。  
小樽北運河の会は24日午  
前11時から宗円寺で像の合  
同参拝を行う。事前の申し  
込みは不要。問い合わせは  
同会☎0134・32・3  
911へ。(久慈陽太郎)